



東海村

議会だより

第49号

2022.7

目次

6月定例会

物価高騰対策で水道料減免，学校給食補助など…………… P 2

神楽沢近隣公園整備進む／賛否の分かれた議案，討論 … P 3

村政を問う！〔一般質問〕…………… P 4～9

9月定例会日程（予定）／鈴木 昇 議員 逝去 …………… P10

子育てバンザイ！
（母と子のサロン）

6月議会 あらまし

※全議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。



令和4年第2回定例会（6月議会）は、6月1日に開会し、20日までの会期で開催しました。9日から13日までの3日間に10人の議員が一般質問を行いました。

14日の一般会計予算決算委員会では補正予算を審査し、20日の議案審議では、物価高騰に伴う村民の生活支援策を含む一般会計補正予算、条例改正、工事請負契約の締結などの村長提出議案16件全てを可決・同意しました。

東海村
一般会計
補正予算
(第3号)

物価高騰対策で水道料減免、 学校給食補助など

物価高騰による村民生活負担の軽減策を盛り込んだ一般会計補正予算が提出され、議会は全会一致で可決しました。議会では、村民生活支援及び経済対策を引き続き注視していきます。

水道料金の減免

6、7月分の水道料金（7月検針分）を全額免除します。水道料金の免除は、村内の全世帯及び企業が対象で、原則申し込み手続きは不要です。なお、下水道料金は対象となりません。

予算額 **1億3千万円**

奨学生への緊急支援

安心して学業等に専念できるように生活支援として、令和4年度東海村奨学金貸与者（学生）及び返還中の方183人を対象に給付金を支給します。

1人当たり支給額 **4万円**

学校給食食材費の補助

小麦や油、牛乳など学校給食に欠かせない食材費の値上げが相次いでいることから、主食であるパン・ソフトメンの購入費用の全額を補助します。期間は、令和4年7月から令和5年3月分までです。

これにより現時点では、学校給食費の個人負担分は据え置きとなります。



対象児童・生徒数 **3,386人分** 補助額 **1,247万円**

神楽沢近隣公園 整備工事進む



神楽沢近隣公園 1 期整備工事請負契約の締結に関する議案を全会一致で可決しました。

神楽沢近隣公園は、村立東海病院近くに位置し、令和 7 年 3 月までの完成を目指し、現在工事が進行中です。公園の面積は 2.6 ヘクタールで東京ドームの約半分、外周 350m の中央にある芝生広場でのびのびとボール遊びができます。併せて、広場の隣にあるせせらぎでは水遊びも楽しめます。また、長さ 28m の大きなすべり台とスリー・エックス・スリー用のバスケットコート 2 面を整備予定です。

イメージ図



各議員の賛否（議案などで賛否の分かれたもの）

議員名 議案等名	新政とうかい									光風会		公明党					結果	
	飛田 静幸	舛井 文夫	大内 則夫	越智 辰哉	河野 健一	武部 慎一	吉田 充宏	寺門 定範	笹嶋 士郎	三上 修	江田 五六	恵利 いつ	岡崎 悟	植木 伸寿	大名美恵子	村上 孝		阿部 功志
議案第 121 号	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決

○…賛成

×…反対

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

賛否の分かれた議案の名称と要旨

議案第 121 号	東海村総合支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	地域包括支援センターの委託に伴い、東海村総合支援センター内に設置された地域包括支援センターを廃止するため、条例の一部を改正するもの

反対

大名美恵子 議員

厚生労働省は「社会保障制度は国民生活を生涯にわたって支える制度」と説明。地域包括支援センター運営は効率化の対象にはならない事業と考える。廃止するのではなく 2 力所とも直営で運営することこそ妥当である。

議案第 121 号

です。

討

論

討論とは…

自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。

村政を問う!

一般質問

村上 孝 議員 P.5

- 1 自給率を高める農業政策の取り組みについて
- 2 高齢者にやさしい公共交通の在り方について
- 3 都市公園の利活用に関する管理の在り方について

三上 修 議員 P.5

- 1 広域避難訓練及び広域避難計画の策定は整理が必要
- 2 原油をはじめとする物価高騰とコロナ禍の住民生活支援を
- 3 村遺贈基金創設と合同墓建設で終活支援を
- 4 情報通信技術による業務合理化の推進状況は

植木 伸寿 議員 P.6

- 1 道徳教育の取組状況は
- 2 交通ルール遵守に向けた啓発や促進は
- 3 男性用トイレにサニタリーボックスの設置は

武部 慎一 議員 P.6

- 1 公共インフラの総合管理計画 今回の更新で何が変わったのか
- 2 東海村における国土強靱化地域計画について今何が必要か
- 3 盛土行政の改革が進まないのはなぜか立地自治体が抱えるリスクが大きい
- 4 ごみ処理基本計画の概要についてパブコメの結果は如何に
- 5 村と単位自治会との「協働の事業」について今後の進め方について

阿部 功志 議員 P.7

- 1 避難計画で避難先の割り振りの現状は
- 2 原電が出す予定の事故想定は
- 3 三菱原燃の虚偽説明に村はなぜ対応しないのか
- 4 原発への攻撃に対して村の見解は

恵利 いつ 議員 P.7

- 1 既存公園の管理の在り方と建設中の神楽沢近隣公園整備について
- 2 「生理の貧困」への対応と男性トイレに汚物入れを設置する取組
- 3 総合相談支援課はどのような体制か

大内 則夫 議員 P.8

- 1 中央地区区画整理事業の盛土造成地について
- 2 道の駅誘致について
- 3 研究用原子炉 JRR-3 と東海第二発電所との避難訓練及び避難計画について

大名 美恵子 議員 P.8

- 1 インボイス制度について
- 2 公共施設の拡充について
- 3 物価高騰の学校給食への影響について
- 4 東海第二原発の新基準対応の工事期間延長に関して
- 5 加齢性難聴者の状況調査の実施を

笹嶋 士郎 議員 P.9

- 1 幼稚園再編に向けた村松幼稚園の現状と問題点について
- 2 道路整備方針について
- 3 水戸外環状道路（北線）の現状と住民説明について
- 4 コロナ禍 3 年目における自治会活動の在り方について

岡崎 悟 議員 P.9

- 1 地方創生臨時交付金の活用について
- 2 アレルギー対策について
- 3 「いばらき県央地域連携中枢都市圏」について
- 4 带状疱疹ワクチンへの助成について

※青字の質問を掲載。

※議会ホームページでもご覧いただけます。

東海村議会

検索



問

* 干し芋残渣処理の指導は

答

適正処分の指導を実施している



村上 孝 議員

問 干し芋残渣から匂いが発生すると苦情があるが、村の指導はあるが、廃棄物の減量と適正処分については、生産農家に対して伝えている。

答 本村の干し芋は、若い人たちが頑張りコンクールで金賞、銀賞を得られるまでになった。干し芋残渣の処理は大変経費が掛かることから、何らかの解決策を考えるべき。

答 残渣処理は長年の課題だが、決定的な方法は見つかっていない。技術革新が進んでいるので、有効活用できる



干し芋残渣に集まるカラスの群れ

問 高齢化社会が進行する中で、高齢者は免許証を返納してしまうと交通手段がなくなってしまう。高齢者に優しい新たな地域公共交通計画を考えるべき。

答 高齢者に優しい公共交通の在り方は、地域社会や住民ニーズに合った対処支援策を他自治体の事例も参考に検討していく。

問 デマンドタクシーは予約しにくい

答 公共交通会議などで検討

方法を模索していく。

問

物価高騰対策はいかに

答

臨時交付金で速やかに対応する



新政とうかい
三上 修 議員

問 長きにわたるコロナ禍に相まって、ロシアによるウクライナ侵攻以来、原油をはじめその他の物価が高騰し、急激な円安傾向もあって住民生活は大きな影響を受けている。本村の対策はいかに。

答 今回、「原油価格・物価高騰対応分地方創生臨時交付金」が国から交付予定で、使途について現在検討中。

この臨時交付金は、他の自治体に比べ限度額も多くなり、一般財源の充当も限られるが、①水道料金の免除、②給食食材費高騰の影響



6月と7月は水道料無料で、家庭と事業者を支援

を受けている小中学校給食費への一部補助、③村奨学金を貸与している学生等への給付金の支給を考えている。給食食材費の高騰については、小麦・油や牛乳など、学校給食に欠かせない材料の値上げが相次いでいる。

子どもたちの成長期において必要な栄養価を満たす給食を安定的に提供することが困難な状況となっていることから、「地方創生臨時交付金」を学校給食の食材等の物価上昇分に活用して速やかに対応を検討する。

問 道徳教育への取り組みは 答 児童生徒が自己の成長を実感する



公明党 議員
植木 伸寿

問 学校の道徳教育をどう推進しているか。

答 学校や児童生徒の実態、発達段階などを踏まえて道徳教育の目標を設定し、それを達成するために教育活動全体を通じて道徳性を養っている。

問 コロナ禍による閉塞感に加え、ロシアの軍事侵攻などの報道で不安を抱える子どもがいるのではないかと危惧するがいかがか。

答 各教科や総合的な学習で平和や生命の尊重について考える学習をしている。併せて国際理解、国際貢献や公



タブレットを活用した道徳の授業
(R4年度 石神小学校)

正、公平、社会正義についても学習している。今後は、道徳教育の目標の実現に向けた教育活動を推進する。

問 学習内容は理解した。そこで道徳授業の指導と評価、教師間における共有の状況は。

答 「考え議論する道徳」の授業づくりに努めている。研究テーマに基づいて研究した成果を、他校と共有することで授業力の向上を図っている。児童生徒が学習したことの意味や価値を実感し、道徳的実践力が高まるような評価に努めている。

問 総合管理計画には 人材育成が必要

答 目標達成に向けた人材育成が重要



新政とうかい 議員
武部 慎一

問 今回の更新でこれまでの計画と何が変わったのか、更新概要などについて伺う。

答 また、重要施設に関する強靱化対策は単純に老朽化年数ごとの更新計画ではなく、施設の優先度や重要度、予算の平準化などを考慮して、より具体的な計画を自ら試算してみることが必要。また計画の策定には、自らデータを打ち込み、最適な資産運用も含めて、自ら計画を構築する人材育成が必要。可能な限り内作で計画を構築し、ICT化を使いこなす



東海村公共施設の総合管理計画の構築には、確かな施設データベースが必要

人材の育成が必要と思われるが考えを伺う。

答 将来人口の見通しや施設の総量及び将来の更新コストなどの修正を行ったほか、過去に行った対策の効果、有形固定資産減価償却率の推移やユニバーサルデザイン化に係る記載などを追加した。また、今年度から公会計システムを導入し、施設毎のコスト分析などが可能となった。内部の人材育成は重要であり、関係部署と連携し育成手法の検討を進め、次世代に負担を残さないよう努める。

問 避難先の割り振り 見直しの現状は

答 一人当たり 3 m²、不足を県が調整



あべ こうし 議員
阿部 功志

問 ウクライナ原発が攻撃された。村とし

問 原発への攻撃に対して村の見解は
答 原子力施設への攻撃は国際法違反

問 避難計画、県は避難先の割り振りを見直しているが、今後は。
答 県は間仕切りの確保を前提に一人当たり 3 m²以上（4 m²に 2 人滞在し、ほかに通路等を確保）とする方針。現在の避難先では全村民の受け入れは困難で新たな避難先が県から割り振られると認識。



避難所を地図で確認する家族

て、原発への武力攻撃を想定しない新規基準の安全対策をどう捉えているか。
答 原子力施設への武力攻撃は国際法違反。規制委員会の委員長は武力攻撃に対する備えを規制要求に加えることは考えていないと発言。全原協を通じて原発の防護対策の再検証と方針の明確化、防護対策の強化を国に要望している。主権侵害が自らの国益を毀損するという国際社会での認識の確立が最大の抑止力。国が外交で毅然と対処することが重要。

問 総合相談支援課の体制は 答 福祉の困りごとをワンストップで



光風会 えり 議員
恵利 いつ

問 「総合相談支援課」が設置された。組織改編にあたり、これまでの相談体制をどう評価しているか。また、新たな体制での業務内容とは。
答 福祉に関する相談に対して各窓口で丁寧に対応し、関係課が連携して適切なサービスに努めてきた。しかし、近年住民の困りごとは複雑化・複合化しており、制度のはざまに必要な支援が届かない方が増えている。今年度から、総合相談支援課は分野を問わない相談をワンストップ窓口で



窓口は 11 月まで「なごみ」、その後「絆」へ

受け止め、包括的な支援のコーディネートや関係機関につなぐ業務を行っている。
問 漏れない支援につながることは、住民としても心強い。一方で、現在「なごみ」にある窓口が「絆」へ移転することで、ボランティアの活動の場、会議室が一部失われることに。村は、協働のまちづくりを掲げているが、ボランティア活動への配慮に欠けていたのではないか。
答 新たな会議室の在り方について、今後全庁的に検討を進める。

問 広域避難計画を 次のステップへ

答 状況を見極めながら次の段階に



新政とうかい
おおうち のり お
大内 則夫 議員

問 研究用原子炉と東海第二発電所とで避難訓練の在り方や避難計画の策定は、どのように関連するか。

答 「屋内退避・避難誘導の基本方針」と「東海第二発電所の広域避難計画」について、訓練の在り方や避難計画策定は、村の情報発信の手段や広報を確認した上で村民が避難行動を開始することなど共通する点も多い。繰り返し実動型の訓練を実施して、避難行動と避難計画に対する住民理解を深めていく。



(案) のままの「東海村広域避難計画」

問 守谷市との訓練、国・県でまとめる緊急時対応との整理、研究用原子炉と東海第二発電所との関連の明確化により避難計画を次のステップへ進められるのではないか。

答 広域避難計画は、課題やその対応について「緊急時対応」が取りまとめられる過程で整理されるものもあると認識しており、本村に求められる広域避難計画の策定に必要な作業に注力したい。また、守谷市への訓練実施など、状況を見極めながら次の段階に向けて判断をする。

問 学校給食費の 公費負担分の増額を

答 負担のあり方を十分調査検討する



おおな みえこ
大名 美恵子 議員

問 学校給食に影響している物価高騰の原因は、ウクライナ危機だけではなく、アベノミクスで異常な円安を作った政治のあり方が根本問題。影響を解消するためには行政の責任こそ求められる。具体的な影響と工夫について問う。

答 安価な食材で代替えるなど物資選定の食材費抑制の一方、炊き込みご飯やデザートなどの単価の高い食材や、油を使う揚げ物類の提供回数は減らさざるを得ない状況。



東海村の学校給食

問 臨時交付金活用を給食費への助成にも見込んだと聞けるが、学校給食の第一の目標を達成できるのか。また、来年度からの給食費公会計化では、公費負担の増額を検討してはどうか。

答 栄養バランスに配慮した給食を提供しており、栄養摂取に影響はない。価格上昇の著しい主食材の一部に交付金を充て、今後も費用の節減を図りつつ、栄養価を確保していく。公費負担については、保護者負担分と公費負担分のあり方を十分調査検討していく。

問

現道舗装の推進を

答

現道舗装の手法を取り入れ進める

問 住民は、道路整備に大変関心がある。道路整備の基本方針及び住民の道路に対する要望は、過去と現在でどうなっているのか。

答 「みちづくり基本計画」に基づき、「車中心から人にやさしい道へ」のもと、主に歩道整備を進めてきた。平成30年4月には、道路舗装の更新計画を策定し、今後は耐用年数を超えた生活道路を更新していく。昨今の一番の要望は、道路の維持管理に関するものが多い。



新政とうかい
ささじま しろう 議員
笹嶋 士郎



自費で布マットやゴムマットを敷いている村道

問 畑の中に民家が点在する村道では、30年も40年も舗装がされず、雨が降ると水がたまり、ぬかるみで住民は通行に難儀している。中には、自費で布マットやゴムマットを敷いて通行を可能にしている方もいる。道路拡幅の協力が得られないのであれば、現道舗装をしてはどうか。

答 現道舗装は、地域の実情や財政に見合った手法の一つと認識する。可能な限り現道舗装の手法を取り入れることで、最小の費用で最大の効果を発揮できるように進める。

問

村長に物価高騰対策実施を要望

答

追加補正で水道料金免除などを

問 コロナ禍における「原油価格・物価高騰など総合緊急対策」で、公明党の強い要請を受け、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が拡充され、「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」が4月末に決定し、創設された。これにより、自治体が実施する水道料金などの負担軽減、生活に困窮する方々への支援、学校給食費などの負担軽減、子育て世帯への支援など、総合緊急対策への取り組みが

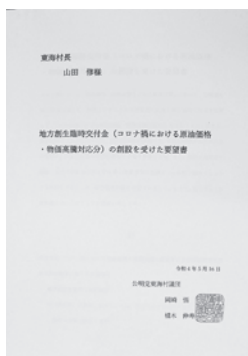


公明党
おかざき さとる 議員
岡崎 悟

明記された。このことを受けて、5月16日山田村長に、公明党の考えを説明して、原油価格・物価高騰対策を求める要望書を提出した。臨時交付金の活用について、村長の考えは。

答 臨時交付金の趣旨を踏まえ、迅速かつ住民の方に手間をかけない支援とすべく、水道料金の免除、食材の物価高騰の影響を受けている小中学校給食への一部補助、村奨学金を貸与している学生等への給付を実施する方向で、今議会に追加議案として補正予算案の提出を予定している。

臨時交付金の活用について村長に提出した要望書

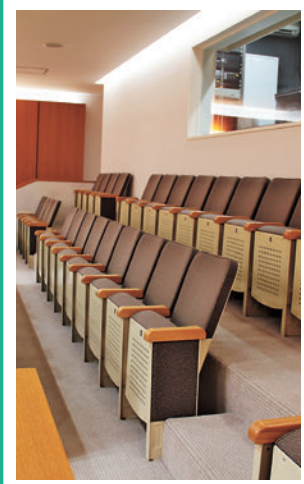


表紙写真の紹介



シリーズ 未来へ

初めての子育てはちょっと不安。だから今日の「母と子のサロン」には、お父さんも参加。家族みんなと一緒に読み聞かせや、手遊びなどを楽しみながら育児に関する情報交換を行っていました。



傍聴から はじめよう！

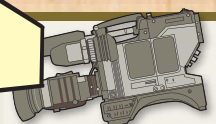
どなたでも傍聴できます。
役場議会棟2階にお越しください。(受付は30分前から)

傍聴の定員は
20名

(感染症対策で人数を制限しています。)

9月定例会日程(予定)

村内各コミセン
総合福祉センター「絆」
でライブ配信中



期 日	時 間	内 容
9月 1日(木)	午前10時～	開会
9月 9日(金)	午前10時～	一般質問
9月12日(月)	午前10時～	一般質問
9月13日(火)	午前10時～	一般質問
9月14日(水)	午前 9時～	予算決算委員会

期 日	時 間	内 容
9月15日(木)	午前 9時～	予算決算委員会
9月16日(金)	午前 9時～	予算決算委員会
9月21日(水)	午前10時～	予算決算委員会
9月27日(火)	午前10時～	議案審議

※日程は変更になる場合があります。

※開会・一般質問・議案審議は、議会棟2階の議会事務局窓口で住所・氏名等を記載するだけで、どなたでも傍聴できます。



鈴木 昇議員 逝去

鈴木昇議員(70歳)が、去る5月11日に逝去されました。

鈴木議員は、平成8年に東海村議会議員に初当選され、7期26年の長きにわたり村議会議員を務め、第29代及び第32代と2度にわたり東海村議会議長として、力強いリーダーシップを発揮し円滑な議会運営にご尽力されました。

数々の常任委員会や特別委員会の委員長等の要職を歴任し、都市基盤の整備や住民福祉の向上など本村発展にご貢献されました。

ここに故鈴木昇議員の在りし日を偲び、議員としてのご功績に対し心からの敬意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

